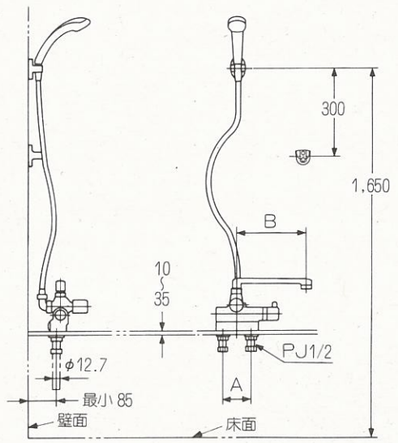
TOTO

ジョイシリーズ台付サーモスタットシャワーバス金具施工説明書

製品の機能が十分発揮されるよう、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

完　成　図

TM246CRタイプ



品　番	A寸法	B寸法
TM246CRタイプ	85	230
TM246CARタイプ	120	250

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使　用　条　件

1．使用水圧

(1)ガス瞬間湯沸器と組合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……（下表参照）
　　最高水圧……0.6MPa

器具入口部における最低必要水圧(MPa)

給湯機タイプと号数			スプレー	マッサージ
能力手動切替タイプ		12号	A+0.11	A+0.15
比例制御タイプ	TOTOカスタム制御方式	16号	0.08	0.09
		20号		
	TOTOトリコン制御方式・トリコン・コンタクト・アクティ	16号	0.07	0.08
		20号	0.08	0.09
		24号	0.06	0.07
		アクティ		
		スーパーアクティ		
		32号		
	TOTO/ハイトリコン制御方式	21号	0.06	0.07
		24号		
	TOTOコマンド	16号	0.06	0.07
		24号		
	TOTOハイコマンド	21号	0.06	0.07
		24号		

注）TOTOカスタムシリーズでは、湯沸器の温度を60℃にした場合、表中の数値より0.02MPa多く必要になります。

表中のAは湯沸器の最低作動水圧を示します。（比例制御タイプにはこの数値が含まれています。）

〈設定条件〉

- 切替ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は最高温に設定
- 夏季水温25℃
- 冬季水温5℃
- シャワー吐水温度42℃
- 給湯配管長さ5m

a）能力手動切替タイプ

- 湯沸器が着火する下限の圧力とする。
- 季節は水温の高い夏季とする。
- 水温が高く着火しにくい場合は能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

b）比例制御タイプの場合

- 8L/min(マッサージシャワーは10L/min)の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- 季節は水温の低い冬季とする。

(2)貯湯式温水器と組合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa
　　最高圧力……0.6MPa

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

給水圧力が0.6MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

2．給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

3．給湯に蒸気を使用しないでください。

4．湯・水を逆配管しないでください。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

5．ストレーナの掃除のため、本体は壁面より85㎜以上のスペースを確保して取付けてください。

6．取付後の保守点検ができるように必ず〝点検口〟と止水栓を設けてください。

器具の取付け

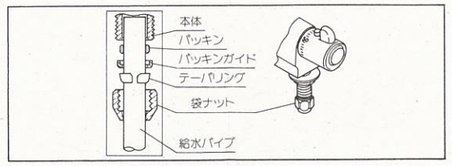
1．給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

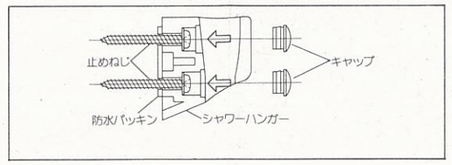
2．差込接続方法

差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

袋ナットは手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上ねじ込んでください。



3．シャワーハンガー取付け要領



温　度　調　節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状態などによって、温度調節ハンドルのダイヤル目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

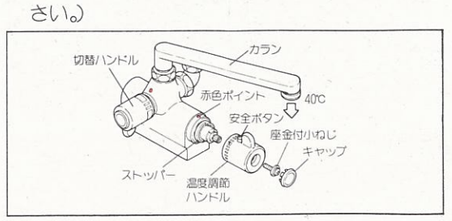
なお、調節する前に次のことを確かめてください。

- ストレーナのごみづまりがないこと。
- 十分な温度（使用する温度より10℃以上）のお湯がきていること。

〈調節要領〉

(1)カランより吐水させてダイヤル目盛に関係なく40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。（高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。）

(2)温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじを外し、温度調節ハンドルを抜きとってください。（ストッパーが外れたときは分解と点検の項に示す位置に正しくはめてください。）



(3)ダイヤル目盛の〝40〟の文字と赤色ポイントを合わせて温度調節ハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめてください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水流量が少なくなったり水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

お　手　入　れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様に次のお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんからこまめに柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがくこと。ただし、樹脂部（ハンドル・シャワーヘッドなど）に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含む洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

寒冷地用の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて同梱の水抜方法ラベルの要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜手順〉

(1)切替ハンドルをカラン側に回す。

(2)本体の水抜コック2ヵ所を開く。

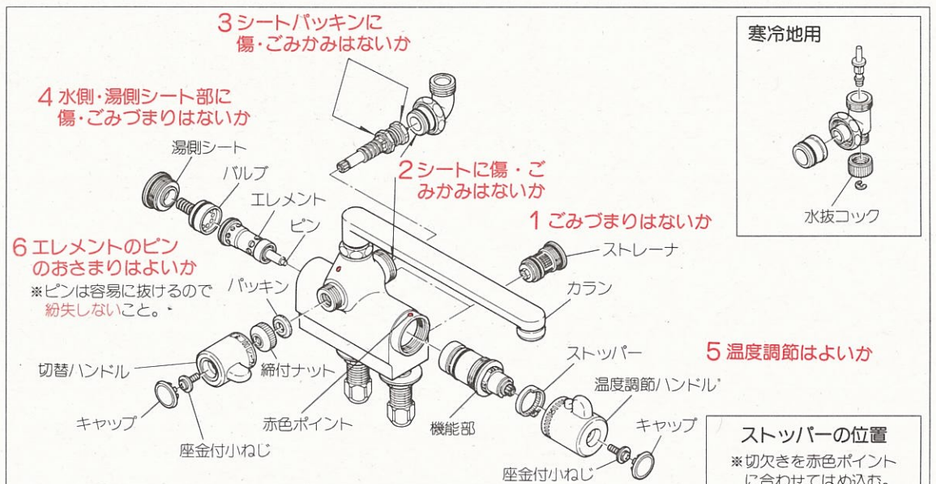
(3)温度調節ハンドルを〝H〟に合わせ、水抜コックから水が出なくなってから、ハンドルを〝C〟側いっぱいに回す。

(4)ホースの根元の水抜コックを開く。

(5)シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜き、シャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床に置く。

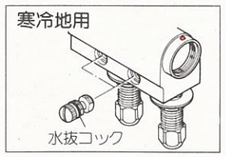
分　解　と　点　検

取付後、万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。



現　象	点検項目
流量が少ない	1
水が止まらない	2・3
高温しか出ない	1・4・5・6
低温しか出ない	1・4・5
目盛どおりのお湯が出ない	1・4・5・6

寒冷地用



※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。